

No. 9

Wrestling

群馬県レスリング協会広報紙  
平成19年 冬季号

## 勝利の源泉は太田俱樂部にあり！

### 長島和幸、天皇杯全日本選手権優勝報告

2月13日（火）、太田俱樂部の練習に、全日本レスリング選手権大会（1/26～28・駒沢）で優勝した長島和幸選手（クリナップ）と同社レスリング部監督・今村浩之さんが優勝報告に訪れた。長島選手は太田俱樂部で基礎を作り、館高でインターハイ優勝、早大でインカレ優勝と、着実に頂点への道を進み、全日本は社会人3年目にして念願の初優勝を果たした。長島選手はマットに上がり、子供たちを指導。練習パートナーは双子の兄・長島正彦さん。その長島兄弟に基礎を叩き込んだ太田俱樂部の監督・今村直樹さんは浩之さんの弟で今村兄弟もまた太田俱樂部OB。保護者会からの花束やバレンタインの贈り物を手に長島選手は「目指すものはただ一つ」と言葉少なくも力強い「謝辞」。最後は今村&長島兄弟でガッチリ肩を組み、太田俱樂部の絆を示した。

◆発行／群馬県レスリング協会会長 兵藤三郎 ◆編集／群馬県レスリング協会広報委員会

## クラブ探訪

レスラーファクトリーを訪ねて

### 第9回 太田俱樂部



徹底した基礎体力作りで  
大きくなって強くなる！

昭和52年に発足した太田俱樂部は、県内はもとより、全国でも草分け的な老舗クラブで、今年創立30周年を迎えます。その記念すべき年にOBの長島和幸選手が全日本優勝、また、今村直樹監督が全日本マスターズ優勝、さらに竹沢弘晃コーチの結婚など、早くもめでたいこと尽くしです。

太田俱樂部の指導方針は、①徹底した基礎作り ②あいさつ ③レスリングを好きになる（「させる」ではなく） ④勝負事はジャンケンでも勝て！ など日ごろ今村監督が子供たちに教えていることは多数ありますが、これも30年一貫した方針です。たとえば他クラブが「タックル、ローリングだけは古い」と言うのが、ワダスベシャルを教えるクラブがあるが「目先の勝利より、大きくなってから強くなってほしい」という信念に変わりはありません。それによって、小柴健二や今村雄介、今回の長島和幸ら全日本王者始め多数の強いレスラーを輩出してきました。コーチ陣はほとんどが20歳代の若いスタッフ。子供たちは、太田俱樂部という大きな航空母艦から颯爽と大空へ飛び立つ戦闘機のように、今日もマットを旋回しています！

■練習日時 毎週火・土曜日、午後5時30分～7時30分・太田商業高校

## SCHEDULE

■少年少女レスリング  
おおま大会  
3月18日（日）  
大間々東中体育館

■全国高校選抜  
レスリング大会  
3月27日（火）～29日（木）  
新潟市体育館

■ジャンクイーンズカップ  
4月14日（土）  
駒沢公園体育館

■JOCジュニアオリンピック  
4月21日（土）～22日（日）  
横浜文化体育館

■群馬県総体  
5月11日（金）～13日（日）  
館林市民体育館



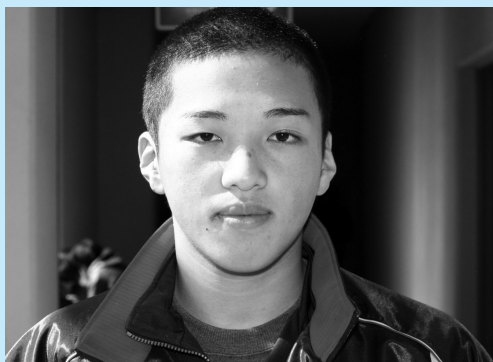
レスラーの心  
（思い出の一夜）

宮内輝和さん（伊勢崎市・46歳）

□この写真は昭和53年、私が足工大附属高時代、高校選抜チームとしてアメリカに行って試合をしたときの一枚です。私は日大へ進み、2年の全日本選手権十キロ級で優勝して、モスクワオリンピックの代表になりました。同じ代表メンバーに高校、大学の先輩で4歳上の谷津嘉章さん（フリー百キロ級）がいました。五輪ボイコットのお知らせを聞いたときはショックでした。でも、あと4年も待てませんので、大相撲に入りました。大相撲は、レスリング以上に縦社会が厳しく、15、16歳の子も先に入っていれば先輩です。栃赤城や栃光の付き人もやりましたね。今は伊勢崎スパークライズのコーチをさせてもらっています。私は体が大きいので子供とスパークライズはできませんが、山口コーチがよく指導しています。スパークライズから、オリンピック選手が出ればいいですね。



## GOOD ぐんまの 新鮮レスラー!



### 遠藤 竜也選手 (関学大附高校1年)

大泉西中時代は柔道をやっていましたが、新たな可能性を求めてレスリング部に入りました。レスリングの予備知識はなく、浜口京子選手しか知りませんでした。練習は厳しく、横の動きが難しいスポーツだと感じましたが、自分に力がどんどんついてくるのが分かってきています。目標は福田翼先輩に勝つことです。目指すレスラーも福田先輩。あんな強さを身に付けたいです。

館高―東京農大で活躍した川島さんは、現在病院で勤務しながら館林Jrで指導。2度目の挑戦となった今大会



見事優勝! 川島義弘コーチ

権大会」が行われた。この大会は、35歳以上のレスリング愛好者を対象にした試合で、本県から昨年に続き川島義弘さん(60キロ以下)と今村直樹さん(84キロ以下)が出場した。

### 群馬選抜Aチーム準V 鹿沼と富塚が牽引役! 都市交流親善レスリング大会

12月17日(日)、城沼総合体育館で「都市交流親善試合」が行われた。県代表として参加した館林高校と富岡実業は予選リーグで惜敗したが、新人戦個人1、3位で構成された群馬選抜Aチームが奮闘し、決勝まで進んだ。決勝では、あと1歩足りず準優勝に終わったが、関東選抜前に各校、各選手とも課題の得られた有意義な大会となった。

で念願の初優勝を飾った。今村直樹さんは、この大会ではもはや独壇場。マスターズの連勝記録を期待したい。

## 福田が関東制覇! 全国に羽ばたけ翼!!

### 関東高校選抜レスリング大会

2月3・4日、足利市民体育館において「第33回関東高校選抜レスリング大会」が行われた。この大会は、個人戦では県新人戦4位以内に入賞した選手が出場、今大会で5位以内に入れば全国選抜に出場できる。本県選手は、年末年始合宿など練習を重ね、十分な体勢で臨んだはずだったが、県内選手は次々と敗退。その中で、福田翼(富実高)が快進撃を続け、決勝まで進出。その決勝でも勝負強さを発揮し優勝。霞ヶ浦や埼玉栄など強豪校を抑え、堂々関東1



闘う姿勢は大器の片鱗! 福田翼(富実高2年)

位として全国へ挑むことになった。写真は、新潟県チームが前西高に来て練習試合した時の1枚。このときは北信越1位の選手に敗れたが「福田は本番に強いタイプ。高校からレスリングを始めて、普段の練習もそんなにガンガンやらせていないのに優勝したのだから、伸びしろは十分」と、あくまで長期的スパンで育てると佐藤正樹監督は語る。

なお、団体戦では館林高校と前橋西高校とも第5位に入り、全国切符を獲得した。個人戦の入賞者は次のとおり(数字は順位)。

- ◇50 kg級 ⑤神山直人(太商2年)
- ◇55 kg級 ⑤染谷篤志(館高2年)
- ◇60 kg級 ⑤鹿沼正史(西邑楽2年)
- ◇66 kg級 ③富塚拓也(関学2年)
- ◇74 kg級 ①福田翼(富実高2年)

### 橋口光太郎がMVP! 畑本顕司3連続優勝! 館林スポ少クラブ交流大会

1月8日(月)、館林市城沼総合体育館で「館林市スポーツ少年団レスリングクラブ交流大会」が行われた。県内クラブに加え、近県クラブが多数参戦した。その中で、地元・

館林ジュニアのエース・橋口光太郎の迎撃体勢がよく整い優勝、MVPを獲得した。スポーツ学校のエース・畑本顕司は県総体、上武杯、館林スポ少と、戦列復帰以来3連覇となる好調振りを見せた。

県内優勝者は次のとおり。

- 【中学生男子】◇59 kg級 今村聖(太田)
- ◇66 kg級 橋口光太郎(館林)
- ◇73 kg級 木村政貴(千代田)
- ◇85 kg級 津久井光司(太田)
- ◇95 kg級 栗原駿(千代田)
- 【小学5・6年の部】◇34 kg級 木村安里(千代田)
- ◇51 kg級 畑本顕司(おおた)
- 【小学3・4年の部】◇24 kg級 小島彰暉(大間々)
- ◇39 kg級 木村優太(千代田)
- ◇42 kg級 石岩寛鷹(邑楽)
- 【小学1・2年の部】◇20 kg級 高橋幸大(邑楽)
- ◇24 kg級 栗原零(千代田)
- 【幼年の部】◇戸ヶ崎桃香(館林)
- ◇21 kg級 神藤俊(邑楽)
- ◇21 kg級 石川弘人(同)

### 壮健! 川島義弘が優勝 今村直樹は賞状V2! 全日本マスターズ選手権大会

1月14日(日)、国立オリンピック記念青少年総合センターにおいて「全日本マスターズレスリング選手

- 【メンバー】◇50 kg級 植木涼介(西邑楽)
- ◇55 kg級 中山修(藤岡北)
- ◇60 kg級 鹿沼正史(西邑楽)
- ◇66 kg級 富塚拓也(関学附)
- ◇74 kg級 遠藤竜也(同)
- ◇84 kg級 久保田学(西邑楽)
- ◇100 kg級 阿部雅幸(館商工)
- 【試合結果】①5・2足利工大 ②4・3新潟県央 ③4・3上田西 ④3・4東北工大高

### ハンガリーで充実合宿 群馬の学生貴重体験! 群馬県国際交流強化対策事業

2月28日から3月7日まで、競技力向上のため、県体協主催による国際交流事業としてハンガリーに遠征した。ハンガリーでは、ブダペストの「バーサススポーツクラブ」と合同練習。百年の伝統があり、17歳から28歳までの強豪が揃う同クラブの練習は極めて実戦的。群馬の学生も



バーサスクラブと群馬の学生チーム

初めこそ圧倒されたものの徐々に慣れ、効果的な練習ができ、貴重な体験ができた。

【遠征メンバー】◇団長 柳川益美  
◇監督 茂木房士 ◇コーチ 兵藤健司 ◇選手 飯塚徹(大東大)  
松本篤史(日体大) 大川弘毅(神奈川大) 尾崎秀典 岩永将兵 船山直樹 山田亨 正保佳史(以上群馬大)

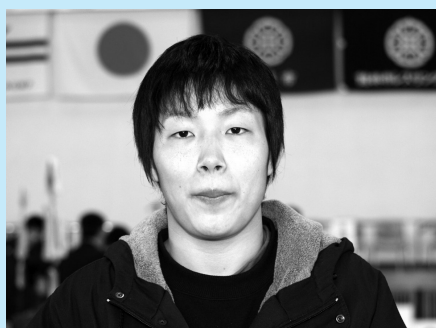
### 群馬の3クイーン強し 柴崎仁沙2連覇飾る! 関東甲信越少年レスリング大会

2月25日(日)、城沼総合体育館において「第15回関東甲信越少年少女レスリング大会」が行われた。北は福島、南は静岡まで総勢67クラブ760名の選手が出場、熱戦が繰り広げられた。群馬勢はよく健闘し多くの入賞者が出たが、特に女子の強さが目立ち、館林Jrの柴崎仁沙が昨年に続き王国の牙城を守り、地元の意地を見せた。

- 県内優勝者は次のとおり。
- 【中学生男子】◇95 kg級 栗原駿(千代田)
- 【小学5・6年】◇56 kg級 堤琢真(館林)
- 【小学5・6年女子】◇36 kg級 木村安里(千代田)
- ◇46 kg級 柴崎仁沙(館林)
- ◇54 kg級 鈴木紅夏(太田)

## なでしこGUNMAの

## レスクイーン



富岡実業高校

新井千明さん(2年)

中3の夏まで柔道をやっていたが、兄(新井智明・拓殖大2年)の影響でレスリングを始めました。去年、静岡の全日本女子オープンで優勝したことが最高の思い出です。それが評価されて、クリッパン国際大会(スウェーデン)に出場します。その大会でも優勝したいです! 妹の明恵もレスリングをやっているのですが、4月のJOCは3兄妹で優勝できればいいなと思っています。憧れのレスラーは清水真理子先生です。真理子先生のように日本代表になって、世界で活躍する選手になりたいと思います。もちろん、オリンピック出場が最大の目標です。